

全体評価

1 総評

業務実績評価書（案）	委員評価
<p>公立大学法人青森公立大学は、教育・研究の一層の推進と活性化を図ることにより、市の発展のために必要とされる有為な人材の輩出と、大学が持つ知的財産を市民に還元し、経営経済をはじめとする各分野において、市が掲げる施策の推進に貢献し、市民の生活及び文化の向上に寄与していくことを使命としている。</p> <p style="text-align: center;">※第3期中期目標 前文</p> <p>第3期中期目標期間（令和3年度から令和8年度まで）の2年目となる令和4年度は、志願者確保に向け高校訪問や戦略的広報活動の実施により、前年を大きく上回る志願者を確保していることは評価できる。</p> <p>教育研究等の質の向上に関して、アクティブラーニング室の有効活用についてPR活動を実施した結果、利用が大幅に増加し、学生の主体的学習に貢献した点やICTを活用してのオンラインでの講義開催やリモート留学の環境整備等に取り組んだ点は評価できる。</p> <p>青森市をはじめとした地域の政策課題に関連した研究や地域連携活動の実施、公開講座やセミナーの開催、まちなかラボでの研究成果の情報発信等の地域貢献に関する多くの取組を実施していることは評価できる。</p> <p>また、良好な学修・研究環境の整備や学生・教職員の健康・安全衛生にもしっかりと取り組むとともに新型コロナウイルス感染症に関する危機管理対策本部を継続し対面授業を維持したことは評価できる。</p> <p>その他の項目についても、順調に進捗しており、令和4年度の年度計画については、中期目標の達成に向けて、ほぼ計画どおりに実施したものと評価できる。</p>	<p>○学部学生の修学支援、キャリアサポートなどが充実しており、<u>高校訪問など多彩な学生募集活動と相まって多くの志願者を集めていることは評価できると思います。</u></p> <p>○<u>志願者獲得に向け戦略的広報活動も実施し、前年を大きく上回る志願者を確保している。</u></p> <p>○<u>経営・財務内容の改善については、受験生確保のための様々な取組により、入学者数も安定的に推移しており、大学の安定運営において最も重要な部分で成果をあげている。</u></p> <p>○<u>主な取組としては、教育研究等の質の向上に関しては、アクティブラーニング室の有効活用についてPR活動を実施した結果、利用が大幅に増加し、学生の主体的学習に貢献している。</u></p> <p>○<u>ICTを活用してのオンラインでの講義開催やリモート留学の環境整備、企業団体と連携しての授業開催などに取り組んでいた。</u></p> <p>○<u>青森市など地域の政策課題に関連する研究や地域連携活動、公開講座やまちなかラボなどによる研究成果の地域への還元などに積極的に取り組んでおり、地域の大学としての使命を十分果たしていると考えます。</u></p> <p>○<u>令和4年度は、教育研究等の質の向上に関する取組や地域貢献に関する取組等、数多くの効果的な施策を実施し、大学が使命として掲げている「市の発展のために必要とされる有為な人材の輩出」「大学が持つ知的財産の市民への還元」等に貢献している。</u></p> <p>○<u>地域貢献については、自治体や地域の企業・団体等と連携し、公開講座やセミナーの開催に取り組んでいる。</u></p> <p>○<u>新型コロナウイルス感染症に関する危機管理対策本部会議を継続し、対面授業を維持した点は高く評価できる。</u></p> <p>○<u>その他業務運営については、計画的に施設設備の整備の他、学生・教職員の健康に関する取組や安全衛生等にもしっかりと取り組んでいる。</u></p> <p>○<u>令和3年度に比べ令和4年度は、外部環境の改善があったことが想定されるものの、内部環境要因等により全体評価が前年度にくらべ若干低下したようであるが、そのような結果自体については大きな問題はないと考える。</u></p> <p>○<u>新型コロナウイルス感染症拡大や物価の高騰等、様々な制約があり厳しい運営状況にある中で、工夫を凝らしながら各活動に取り組み、年度計画をおおむね予定通りに実施した点は評価できる。</u></p> <p>○<u>個別の各施策についてもしっかりと取り組んでおり、中期計画の達成に向けて、ほぼ計画通りに実施できていると評価できる。</u></p> <p>○<u>全体としては、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であると評価できる。</u></p>
<p>（質問事項については参考資料4参照）</p>	<p>○<u>広い敷地であるが、少し市街地から遠いので、軽食店とか喫茶店とか周囲に何店かあると学生たちも交流ができて、入学者の増加につながるのではないのでしょうか。</u></p> <p>○<u>中庭とか駐車場に植えられている草木に、わかりやすい形で名前を付けてはいかかでしょうか。あおもり独特の木もありそうだし、親しみと会話が弾むと思う。</u></p>

## 委員意見を踏まえた令和4年度業務実績評価（案）

### 2 業務の実施状況

資料1 参照

### 3 組織、業務運営等に係る改善事項等

業務実績評価書（案）	委員評価
<p>年度計画について、実施回数による実績の評価だけでなく、業務の運営改善や効率化に関する質的な意味での達成目標が意識されるよう工夫を求める。また、年度計画の実施事項及び内容の記載についても年度計画の達成度がより分かりやすい表現とすることを求める。</p>	<p>○<u>実施回数による実績の進捗評価だけでなく、業務の運営改善や効率化に関する質的な意味での達成目標が意識されるようになることが求められる</u>と思われる。</p> <p>○<u>経営・財務内容の改善に関する目標達成についても、項目内での再掲や項目間での重複（例：No. 99 と No. 29 等）がある。この点に関しては前述したように、小項目の自己評価件数に重要な意味を持たせるのであれば、目標設定における工夫が求められる。</u></p> <p>○<u>地域貢献に関する目標達成は、教育研究等の質の向上に関する目標（項目 No. 59、66、67）と重複する内容が含まれているが、小項目の自己評価件数に重要な意味を持たせるのであれば、将来的には重複を避けることが望ましい。（項目 No. 79、80 の再掲についても同様に、下位項目が複数の上位項目に対応していること自体はあり得ることであるが、件数を評価する場合は工夫が必要とされる。）</u></p> <p>○<u>今後は、年度計画の実施事項及び内容の記載において、計画の達成度がより分かり易く表現されていることが求められる。</u></p>

## 委員意見を踏まえた令和4年度業務実績評価（案）

### 項目別評価

#### 1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）

業務実績評価書（案）	委員評価
<p>授業科目の到達目標や基準の明示など適切な授業運営と成績評価の実施に加え、成績チャートの本人への通知や個別面談により、成績不振者が前年比で減少しており、効果的な学修支援に取り組んでいることは評価できる。</p> <p>また、授業評価アンケートの実施により、教育プログラム等の検証・改善及び教育指導に繋がっていることや、意見に対する教員の回答を公開するなど「見える化」していることは評価できる。</p> <p>ICTを活用した取組として、講義のオンライン開催やリモート留学の環境整備及び企業団体と連携した授業の開催を実施するなど、多様な取組で成果をあげており評価できる。今後は、派遣留学の早期再開を期待する。</p> <p>アクティブラーニング室の積極的な活用を推進し、利用実績が昨年度の436コマを119コマ上回る555コマとなり、学生が能動的に学修できる教育方法の推進が図られたことは評価できる。 今後はアクティブラーニング室を利用した授業のコマ数だけでなく、授業内容に重点を置いた取組を期待する。</p> <p>学士課程の志願者の確保について、県内外の高校訪問や進学説明会のほか、出張講義、懇談会、オープンキャンパス、Webダイレクトメール等の充実した学生募集活動により、目標値であった定員の3倍を上回る5倍の志願者を確保したことは評価できる。</p> <p>博士課程志願者の確保について、潜在的志望者のニーズを把握するなど志願者増につなげる取組を期待する。</p> <p>学生のキャリア支援について、充実した就職活動へのサポートの結果として高い就職率を維持しており、地域貢献の面においても評価できる。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>	<p>○成績チャート、成績不振者への面談など、手厚い学修サポートができていると思います。</p> <p>○授業科目の到達目標や基準の明示など適切な授業運営と成績評価を実施するほか、成績チャートの本人への通知や面談での活用など効果的な施策に取り組んでおり評価できる。さらには、成績優秀者及び不振者に対する個別指導を実施した結果、不振者が前年比で減少しており効果が表れており評価できる。</p> <p>○授業評価アンケートを2回実施し、授業の改善・教育指導に繋がっていること、また、それを「見える化」していることはとても良いと思います。</p> <p>○授業評価アンケートを実施し、教育プログラム等の検証・改善に繋がっており評価できる。</p> <p>○ICTを活用しての取組として、講義のオンライン開催やリモート留学の環境整備及び企業団体と連携しての授業開催など多様な取組で成果をあげており評価できる。</p> <p>○リモート留学よりは派遣留学の方が、経験や質も違うと思うので、早く再開できるといいですね。</p> <p>○項目 No. 11（重点）「アクティブラーニング」は対前年比において、項目 No. 28「一般選抜志願者」は計画目標値に対して、大きく上回ることができており、評価結果 A というのも納得できる。但し、アクティブラーニングが実効性のあるものであるためには、それを標榜する授業のコマ数だけでなく、それを受講する学生のポテンシャルの適正や授業内容に関する評価も必要になると考える。</p> <p>○新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、様々な制約が課せられる状況にある中で、アクティブラーニング室の積極的な活用を推進した点、また県内外の高校訪問、出張講義や懇談会等を開催し、一般選抜志願者の確保に努めた点は高く評価できる。</p> <p>○重点施策であるアクティブラーニング室の有効活用については、積極的なPR活動の結果、前年比で利用が大幅に増加する結果となっており評価できる。</p> <p>○新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、様々な制約が課せられる状況にある中で、アクティブラーニング室の積極的な活用を推進した点、また県内外の高校訪問、出張講義や懇談会等を開催し、一般選抜志願者の確保に努めた点は高く評価できる。（再掲）</p> <p>○学生の受け入れの面では、戦略的な広報活動等により前年を大きく上回る実績をあげており評価できる。</p> <p>○高校訪問、進学説明会、2回のオープンキャンパス、web-DM等、学生募集活動が充実しており、それが、高い志願倍率に繋がっていると思います。</p> <p>○積極的な学生募集活動により、高い志願倍率を維持していることは、特筆すべきと考えます。</p> <p>○大学院生の確保について、いろいろ御尽力されておりますが、潜在的志望者のニーズを把握するなど志願者増につなげる取り組みが期待されます。</p> <p>○博士課程への志願者が少ない。努力していることはわかるが、もう少し志願者が増えるように、入学前に将来への展望や、道がイメージできるようにするのも良いと思う。</p> <p>○項目 No. 33（博士課程入学定員）に関しては、定員数が少ないので振れ幅が大きくなるのは避けられないものの、志願者レベルで定員数に達していない状況を鑑みると、B評価は甘いとも考えられる。</p> <p>○今後大学院（博士課程前・後期）教育のより一層の普及・充実が求められるようになることが想定されるが、大学院の定員確保に向けたこれまでの取り組み（No. 34～37）の効果に対する評価も必要になると考える。</p> <p>○就職活動へのサポートが充実しており、また、県内就職に向けての様々な取組をされていることは、学生のキャリア支援だけでなく、地域貢献の面でも高く評価できると思います。</p> <p>○手厚いキャリアサポートの結果として、高い就職率を維持していることは、高く評価できると思います。</p> <p>○本項目に関して、ほとんどがB評価であり、全体に順調な進捗であったというのは妥当な評価結果である。</p> <p>○全体としては、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であると評価できる。</p>
<p>（質問事項については参考資料4参照）</p>	<p>○授業評価のアンケートを実施しているようですが、どのような方法と内容のアンケートであるかと、あと回収の方法と回収率を知りたいと思います。</p>

## 委員意見を踏まえた令和4年度業務実績評価（案）

### 2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究）

業務実績評価書（案）	委員評価
<p>大学の地位を高めたと認められる研究成果の顕彰について、大学のステータス向上にもつながり、結果として受験者数の増加、外部資金の流入等にも寄与すると思われることから、今後の取組に期待する。</p> <p>また、戦略的研究費の更なる活用による研究活動の活性化を期待する。</p> <p>地域住民を対象とした公開講座の開催、まちなかラボでの研究成果の情報発信、青森リモートワーク人材誘致研究会や青森市産官学連絡会議が開催した「合同学修・研究発表会」への参画、連携協定を締結している町村等からの事業の受託等による積極的な研究成果の地域社会への還元を行っていることは評価できる。</p> <p>また、インターネットを活用した海外研究者との研究事業への取組により研究水準の向上を図っていることは評価できる。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>	<p>○大学の地位を高めたと認められる研究成果を顕彰する取り組みについては、令和元年度から該当なしとなっていることから、<u>今後に期待したい。</u></p> <p>○「大学の地位を高めたと認められる研究成果を顕彰する。」の項目について、令和1年度から4年間、該当者がいない状況である。様々な制約がある中で、やむを得ない側面もあるとは思うが、<u>今後の研究成果に期待したい。</u></p> <p>○項目 No. 57 は、「…研究成果を顕彰する」という意味においては、B 評価というのも妥当な結果といえる。しかし、中期計画目標の本来の目的は研究水準を高めることにあると考えるのであれば、<u>年度計画はむしろ未達であったと判断する方が妥当である</u>と思われる。</p> <p>○大学の地位を高めたと認められる研究成果を顕彰する取り組みについて、令和元年度から該当なしとなっているが、この取り組みについては、<u>大学のステータス向上にもつながり、結果として受験者数の増加、外部資金の流入等にも寄与すると思われることから、今後の取組に期待したい。</u></p> <p>○<u>戦略的研究費の更なる活用による研究活動の活性化が望まれます。</u></p> <p>○教育研究などの質の向上といっても、長期にわたって引き継いでいかないと、本当に身が入った研究は中々難しいと思う。特に地方都市においては、<u>（研究室や必要な設備を拡充するとともに良いと思う。）</u></p> <p>○研究の質的な水準や、大学が求める研究テーマ・課題領域に対する取り組み状況に関する評価があってもよいと思われる。</p> <p>○<u>公開講座、まちなかラボ等による研究成果の地域への還元を積極的に行っていることは、地域の大学として望ましいことだと思います。</u></p> <p>○<u>地域住民を対象とした公開講座5講座の開催や、青森リモートワーク人材誘致研究会への参画等、研究成果を積極的に地域社会に還元している点は評価できる。</u></p> <p>○<u>インターネットを活用した海外研究者との研究事業に取り組んだほか、連携協定を締結している町村等からの事業の受託、あるいは青森市産官学連絡会議が開催した「合同学修・研究発表会」に参画するなど成果をあげており評価できる。</u></p> <p>○<u>研究成果のフィードバックも重要な活動であるので、両者を独立した項目として評価するだけでなく、その関係性をも評価可能にするとよいと思われる。</u></p> <p>○<u>本項目における年度計画での実施事項は、ほぼ全てにおいて順調な進捗であった。</u></p> <p>○<u>全体としては、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であると評価できる。</u></p>

## 委員意見を踏まえた令和4年度業務実績評価（案）

### 3 地域貢献に関する目標を達成するための措置

業務実績評価書（案）	委員評価
<p>地域の大学として、青森市をはじめとする県内自治体との連携や公益財団法人 21 あおもり産業総合支援センターとの連携による起業・創業セミナーの開催、学生のビジネスアイデアコンテストへの参加に加え、地域の大学間の連携強化や公開講座などを通じて大学の教育研究資源や成果を地域住民にも還元している点は評価できる。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○青森市をはじめとする県内各自治体との連携、活動への参加や、公益財団法人 21 あおもり産業総合支援センターとの連携による起業・創業セミナーの開催、学生のビジネスアイデアコンテストへの参加等、地域の様々な活動に積極的に取り組んでいる点は高く評価できる。</li> <li>○自治体からの受託事業の他、青森市学生ビジネスアイデアコンテストへの参画など地域連携活動に積極的に取り組んでいるほか、地域の大学間の連携強化にも取り組んでおり評価できる。</li> <li>○大学の研究成果の社会還元の一環として実施されている公開講座の開催や 21 あおもり産業総合支援センターと連携した創業・企業セミナーの開催など、多様な取り組みを実施しており評価できる。</li> <li>○大学の教育研究資源や成果を「まちなかラボ」、「地域公開講座」などを通じて地域の方々に還元していることは、大変良いことだと思います。</li> <li>○地域の産業界との連携事業に積極的に取り組んでおり、地域の大学として地域産業の活性化に貢献していると思います。</li> <li>○中枢都市圏構想に係る地域定着促進事業への取り組みなど、地域課題の解決に向けた市の政策に積極的に関与する姿勢は、地域の大学として望まれる姿だと思います。</li> <li>○県内自治体の事業である「共育型インターンシップ」に学生が参加し、地域課題の解決に取り組んだことは大いに評価できる。</li> <li>○地域貢献活動として、各委員会や協議会の委員就任は、とても大切かと思う。会のレベルの底上げになるようで、いいと思う。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本項目における年度計画での実施事項は、順調な進捗であったものと評価できる。</li> <li>○全体としては、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であると評価できる。</li> </ul>
<p>（質問事項については参考資料4参照）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際交流ハウスも、だいぶ老朽化しているが、改装する予定はあるのか？交流ゾーンと宿泊ゾーンの利用状況はどうなっているのか。もう少し市民にもわかりやすく宣伝して、利用してもらう方法を考えてはどうでしょうか。</li> </ul>

### 4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

業務実績評価書（案）	委員評価
<p>戦略会議の開催や市長と理事との意見交換など、課題を踏まえた今後の大学運営の方向性等について自由に意見交換をする場を設けていることは評価できる。</p> <p>不足している科目の教員公募について、人員確保に努めた点は評価できるが、今後は効率性の高い公募方法の検討を期待する。</p> <p>青森市の評価制度に準じた事務職員の人事評価を継続実施し、給与・昇任等に反映するとともに、教員の人事評価についても、本格実施に向けた3回目の試行を実施したことは評価できる。</p> <p>ホームページやSNSの活用により積極的に情報発信に取り組んでいることは評価できる。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○戦略会議の開催、市長と理事との意見交換など、課題を踏まえた今後の大学運営の方向性等について自由に意見交換をする場が設けられていることは、意義のあることだと思います。</li> <li>○不足している科目の教員公募を積極的に実施し、人員確保に努めた点は評価できる。</li> <li>○教員確保のための公募の効率性については、検討の余地があるかもしれない。</li> <li>○事務局体制、教員・職員の人事評価の体制構築に着実に取り組まれていると思います。</li> <li>○青森市の評価制度に準じた人事評価を継続実施し給与・昇任等に反映させている。また、本格実施に向け3回目の試行を実施しており評価できる。</li> <li>○広報活動の推進に関しては、ホームページやSNSの活用により積極的に情報発信に取り組んでおり評価できる。</li> <li>○実際に日常的に見ているわけではないので、改善の必要点とか理由が適切に判断できないが、一般法人経営と大学経営は、いろいろと基準も違うと思うが、大学のイメージアップはとても大事だと思う。（教員を含めて）</li> <li>○本項目における年度計画での実施事項についても、順調な進捗であったものと評価できる。</li> <li>○全体としては、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であると評価できる。</li> </ul>

## 委員意見を踏まえた令和4年度業務実績評価（案）

### 5 経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

業務実績評価書（案）	委員評価
<p>自己収入の確保に向け、受験生確保や大学施設・設備の外部貸し出し、協力金の募集などに積極的に取り組んでいることは評価できる。 なお、自己収入確保に関する項目については、数値目標の設定を増やすことを期待する。</p> <p>国際芸術センター青森について、利用状況の点検を含めた活用促進への取組を期待する。</p> <p>健全な財政運営に向け、財務状況の分析による効率的な予算執行や予算編成を行い、様々な工夫によって毎年一定割合で経費削減に努めている点は評価できる。</p> <p>内部統制の観点から、日常的モニタリングや独立的評価の実施に加え、教職員の規範意識を向上させるため学内におけるコンプライアンス研修の実施や学外研修への参加を促進していることは評価できる。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>	<p>○自己収入の確保に向け、大学施設・設備の外部貸し出し、協力金の募集など、積極的に取り組まれていると思います。</p> <p>○受験生確保のための積極的な取組により受験者数も順調に推移し、その結果、入学者数も安定的に推移しており、大学の安定運営のために最も重要な部分について成果をあげており評価できる。</p> <p>○外部資金を獲得するための様々な取組も実施しており評価できる。</p> <p>○自己収入確保に関して、様々な制約があると思うが、もう少し数値目標を設定しても良いのではないかと考える。</p> <p>○国際芸術センター青森の利用状況をもう一度点検する必要があるのでは？</p> <p>○健全な財政運営に向け、効率的な予算編成・執行に努めていることが理解できました。</p> <p>○財務状況の分析による効率的な予算執行や、費用対効果、スクラップ・アンド・ビルドの実施による予算編成を行い、様々な工夫によって毎年一定割合で経費削減に努めている点は評価できる。</p> <p>○教職員の規範意識を向上させるため、学内研修の他、学外研修への参加を促進したことは非常に良いと思う。「井の中の蛙」にならない様に、世界的な見識を身に付ける事は大切だと思う。</p> <p>○内部統制の観点から、日常的モニタリングや独立的評価を実施しているほか、教職員の規範意識を向上させるためコンプライアンスの学内研修を実施しており、非常に重要な取組であり評価できる。</p> <p>○本項目における年度計画での実施事項についても、順調な進捗であったものと評価できる。</p> <p>○全体としては、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であると評価できる。</p>

### 6 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置

業務実績評価書（案）	委員評価
<p>本評価委員会による評価結果や組織・業務運営に係る改善事項等の反映について、ホームページでの公表や学内会議における情報提供を実施するなど、情報公開に取り組み運営全般に透明性を確保していることは評価できる。引き続き業務実績の自己評価や外部評価の結果を踏まえ、改善に努めていただきたい。</p> <p>公益財団法人大学基準協会による大学評価において全ての課題が改善されたことが認められており、課題改善にしっかりと取り組んでおり評価できる。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>	<p>○評価機関による認証評価、独法評価委員会による年度計画の評価結果について、学内周知、外部への公表、改善への取り組みが適切に行われていると思います。</p> <p>○当委員会の評価結果や組織・業務運営に係る改善事項等の反映について、ホームページで公表あるいは学内会議で情報提供するなど、情報公開に取り組み、運営全般に透明性を確保しており評価できる。</p> <p>○業務実績の自己評価や外部評価に耳を傾け、改善すべきところは改善することは大事であり、意識向上につながると思う。</p> <p>○評価機関による認証評価、独法評価委員会による年度計画の評価結果について、学内周知、外部への公表、改善への取り組みが適切に行われていると思います。（再掲）</p> <p>○公益財団法人大学基準協会による2018年度の大学評価における4点の改善課題について、改善報告書を提出し、全ての課題が改善された点と認められた点は、高く評価できる。この点は、自己評価をAとしても差し支えなかったのではないかと考える。</p> <p>○公益財団法人大学基準協会による大学評価において全ての課題が改善されたことが認められており、課題改善にしっかりと取り組んでおり評価できる。</p> <p>○本項目における年度計画での実施事項についても、順調な進捗であったものと評価できる。</p> <p>○全体としては、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であると評価できる。</p>

## 委員意見を踏まえた令和4年度業務実績評価（案）

### 7 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

業務実績評価書（案）	委員評価
<p>教育研究用施設・設備について、効率的な予算執行の下で、計画的に整備・更新が行われていることは評価できる。</p> <p>国際芸術センター青森について、市内小中学生等を対象にした事業を継続するとともに、青森アートミュージアム5館連携協議会に参画し、アートツーリズム誘客等のPR事業を実施し、活用促進を図っていることは評価できる。</p> <p>大学施設・設備の外部貸し出しについても、自己収入の確保につながるとともに、地域の貴重な財産の有効活用にも繋がり、地域貢献の面からも引き続き積極的な実施を期待する。</p> <p>健康診断やストレスチェックの実施、衛生委員会の開催、感染症情報の収集等による学生・教職員の健康の増進や学内の安全衛生等への取組は評価できる。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症に関する危機管理対策本部会議の継続により対面授業を維持した点についても評価できる。</p> <p>ハラスメント防止対策委員会を開催し、ハラスメント事案について検証や情報共有を図り、適切に対応した点については評価できる。今後も個人の尊厳や人格を不当に傷つけるハラスメント行為の防止と発生時の適切な対応を期待する。</p> <p>全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。</p>	<p>○<u>教育研究用施設・設備について、効率的な予算執行の下で整備・更新が計画的に行われていることが分かりました。</u></p> <p>○<u>限られた予算の中、緊急性及び、必要性の高い維持修繕工事を適切に行ったり、防災訓練を例年行っていることは、とても大切だし、いいことだと思う。</u></p> <p>○<u>施設設備の整備については、インフラ長寿命化計画に基づき計画的に取り組んでおり評価できる。</u></p> <p>○<u>国際芸術センターの活用促進について、小中学生を対象とした校外学習プログラムの実施など、活用促進に向けた取組は、評価すべき点だと思います。</u></p> <p>○<u>国際芸術センター青森については、市内小中学生等を対象にした事業を継続するとともに、青森アートミュージアム5館連携協議会に参画し、アートツーリズム誘客等のPR事業を実施しており評価できる。</u></p> <p>○<u>施設活用についてもPRにより利用促進に取り組み、交流施設については大きく利用増加が図られるなど成果をあげており評価できる。</u></p> <p>○<u>大学施設・設備の外部貸し出しに積極的に取り組まれていることは、自己収入の確保につながるとともに、地域の貴重な財産の有効活用にも繋がり、地域貢献の面からも引き続き取り組んでいただきたい</u>と思います。</p> <p>○<u>国際芸術センターについては、今後も、様々なアイデアを出していただき、地域の貴重な財産として活用促進に取り組んでいただければ</u>と思います。</p> <p>○<u>もっと自由に使える予算（お金）が確保できることを望みます。</u></p> <p>○<u>限られた予算の中、緊急性及び、必要性の高い維持修繕工事を適切に行ったり、防災訓練を例年行っていることは、とても大切だし、いいことだと思う。</u>（再掲）</p> <p>○<u>健康診断やストレスチェックの実施、衛生委員会の開催、感染症情報の収集等、学生・教職員の健康や学内の安全衛生等にしっかりと取り組んでおり評価できる。</u></p> <p>○<u>新型コロナウイルス感染症に関する危機管理対策本部会議を継続し、対面授業を維持した点は高く評価できる。</u></p> <p>○<u>ハラスメント防止対策委員会を開催し、学内におけるハラスメントについて、検証や情報共有を図るとともに、ハラスメント事案に適切に対応した点は評価できる。</u></p> <p>○<u>ハラスメントは、個人としての尊厳や人格を不当に傷つける等の人権に関わる許されない行為であり、今後も適切な対応がとられることを期待する。</u></p> <p>○<u>本項目における年度計画での実施事項についても、順調な進捗であったものと評価できる。</u></p> <p>○<u>全体としては、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であると評価できる。</u></p>